

新型コロナウイルス感染症パンデミック下の神奈川県における带状疱疹の新規受療者数の推移に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2023年5月25日～2025年3月31日
研究課題	新型コロナウイルス感染症パンデミック下の神奈川県における带状疱疹の新規受療者数の推移
研究の概要	<p>目的及び意義： 带状疱疹及び带状疱疹後神経痛が医療システム及び社会に対してもたらす多大な経済的負荷は、日本国民の高齢化による患者数の増加のためさらに増加する可能性が高いと考えられている。本研究は、带状疱疹の新規受療者数がCOVID-19パンデミックの発生以降に変化したのかを定量的に検討することを目的とする。</p> <p>方法： 神奈川県における带状疱疹の新規受療者数を、神奈川県国民健康保険データベースシステムを用いて分析する。分析の中には、比較対照とする疾患群との比較も含まれる。</p> <p>対象： 神奈川県国民健康保険データベースシステムに登録されているすべての人（約300万人）</p>
研究組織	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 <ul style="list-style-type: none"> • 坂本雄（特別研究員、研究代表者） • 渡邊亮（教授、研究分担者（指導・助言・データ管理・情報システム運用責任者））
個人情報の取扱い	神奈川県立保健福祉大学の「人を対象とする生命科学・医学系研究における人体から取得された試料及び情報等の提供及び保管に関する手順書」及びヘルスイノベーション研究科の「個人の医療等分野の情報を用いた調査・研究等における情報システム運用管理規程」に従ってデータを管理する。 <p>（1）情報の内容 名称：国民健康保険データベース（KDB） 内容：被保険者データ、医療保険請求データ 種類：要配慮個人情報を含む個票データ（無記名、対応表なし）</p> <p>（2）情報の匿名化 個人情報を含み、取扱い（分譲、運搬、保管、処理において）に配慮を要する試料・情報 名称：国民健康保険データベース（KDB） 内容：被保険者データ、医療保険請求データ 種類：要配慮個人情報を含む個票データ（無記名、対応表なし）</p>

	<p>データに含まれる生年月日の情報は年齢に変換する等の対策を講じる。これによって、個人情報にあたる情報が含まれないように加工し、分析に用いる。</p> <p>(3) 情報の利用方法及び持出し 研究データは本計画書に記載された研究目的に利用し、他の目的には利用しない。データ分析はヘルスイノベーション研究科サーバールームにおいてのみ実施し、データは当該サーバールーム外に持ち出さない。</p> <p>(4) 運用責任者（情報システム運用責任者） 研究分担者であるヘルスイノベーション研究科 教授 渡邊 亮が運用責任者となる。</p> <p>(5) 情報の取扱者 データを取り扱うのは、上記の研究組織のメンバーに限られる。</p> <p>(6) 死者の情報を取り扱う場合と配慮 死亡患者が対象に含まれる場合もある。データの取扱いは生存患者のデータと同様に行う。</p>
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：

神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 特別研究員 坂本 雄

TEL：044-589-8100（代表）